

行財政改革プランの達成状況

(平成20年度決算後)

行財政改革プランの達成状況のポイント

① **5年間累計の収支改善額 1,834.9億円**

(目標1,454.9億円に対し、380億円の**上積み**)

[歳出] 達成額 1,402.1億円 (231.2億円の**上積み**)

[歳入] 達成額 432.8億円 (148.8億円の**上積み**)

② **最終年度末(20年度末)の財政調整用基金残高 358億円**

- ・プランでは最終年度に「0(ゼロ)」となることが見込まれた財政調整用基金残高は、19年度までの**上積み(255億円)**と、20年度の上積み(103億円)を合わせた**358億円**を確保
- ・**県債残高**は、19年度からの退職手当債の活用等により、プランに対して**92億円増加**

(参考)

20年度の収支改善額 514億円

(目標389億円に対し、125億円の**上積み**)

[歳出] 達成額 380.3億円 (101.3億円の**上積み**)

[歳入] 達成額 133.7億円 (23.7億円の**上積み**)

平成16年度～20年度の行財政改革プラン達成状況

1. 収支改善額の状況について

(単位:億円)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	累計額
①歳出削減額							
プラン目標額 A		186.8	215.7	254.5	234.9	279.0	1,170.9
実績額 B	4.5	207.8	257.7	274.5	277.3	380.3	1,402.1
上積額 C (B-A)	4.5	21.0	42.0	20.0	42.4	101.3	231.2
②歳入確保額							
プラン目標額 A		11.0	30.0	26.0	107.0	110.0	284.0
実績額 B	43.5	126.0	12.0	30.0	87.6	133.7	432.8
上積額 C (B-A)	43.5	115.0	△ 18.0	4.0	△ 19.4	23.7	148.8
③改善額合計 (①+②)							
プラン目標額 A		197.8	245.7	280.5	341.9	389.0	1,454.9
実績額 B	48.0	333.8	269.7	304.5	364.9	514.0	1,834.9
上積額 C (B-A)	48.0	136.0	24.0	24.0	23.0	125.0	380.0
実績額累計	48.0	381.8	651.5	956.0	1,320.9	1,834.9	-

2. 財政調整用基金残高の状況について

(単位:億円)

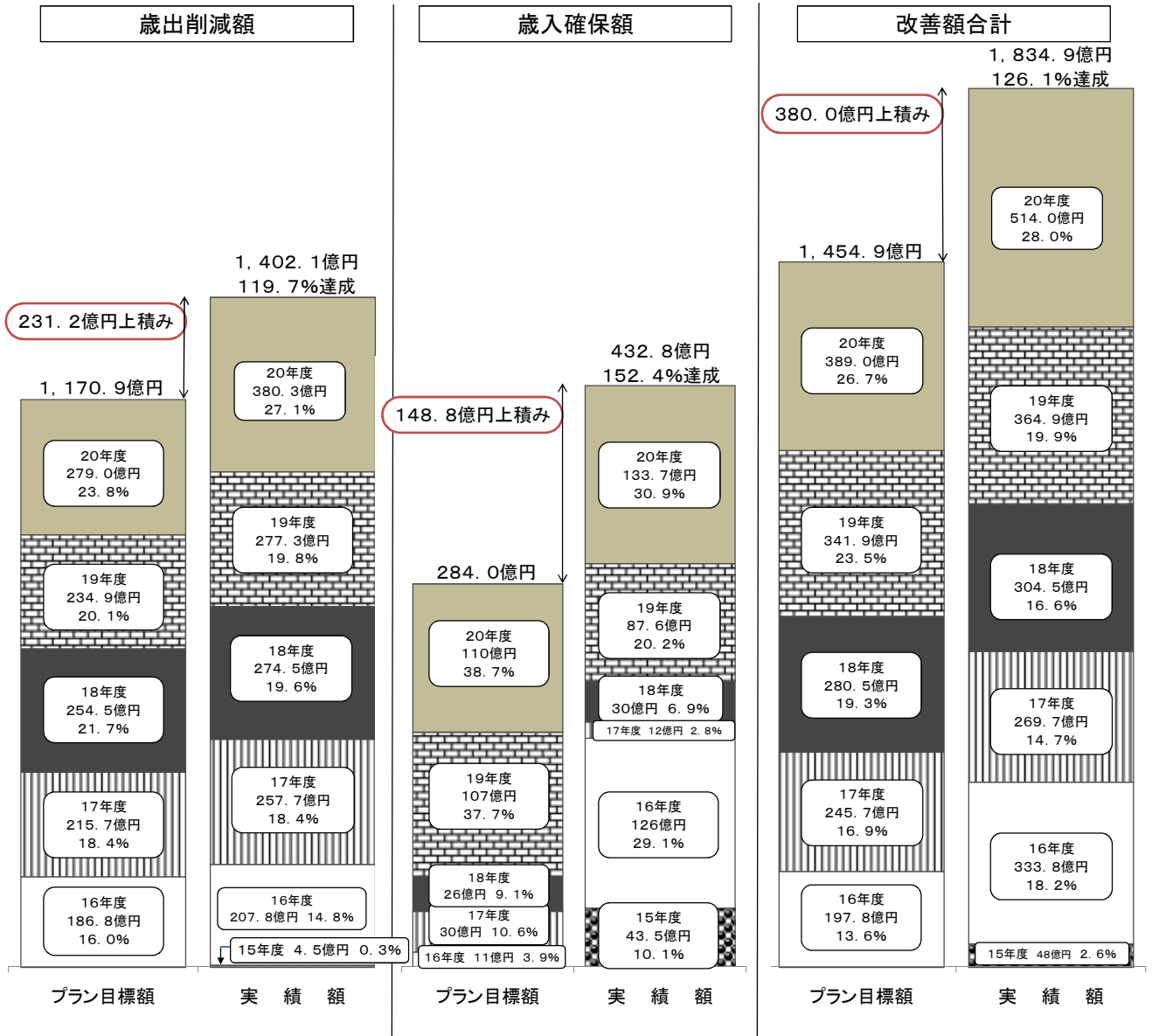
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	累計額
①中期試算 (H16.3時点)	344	45	△ 226	△ 530	△ 945	△ 1,455	-
②プラン目標額	344	243	218	195	121	0	-
③実績額	392	427	426	427	376	358	-
④上積額 (③-②)	48	184	208	232	255	358	-
⑤単年度基金上積額	48	136	24	24	23	103	-

3. 県債残高の状況について

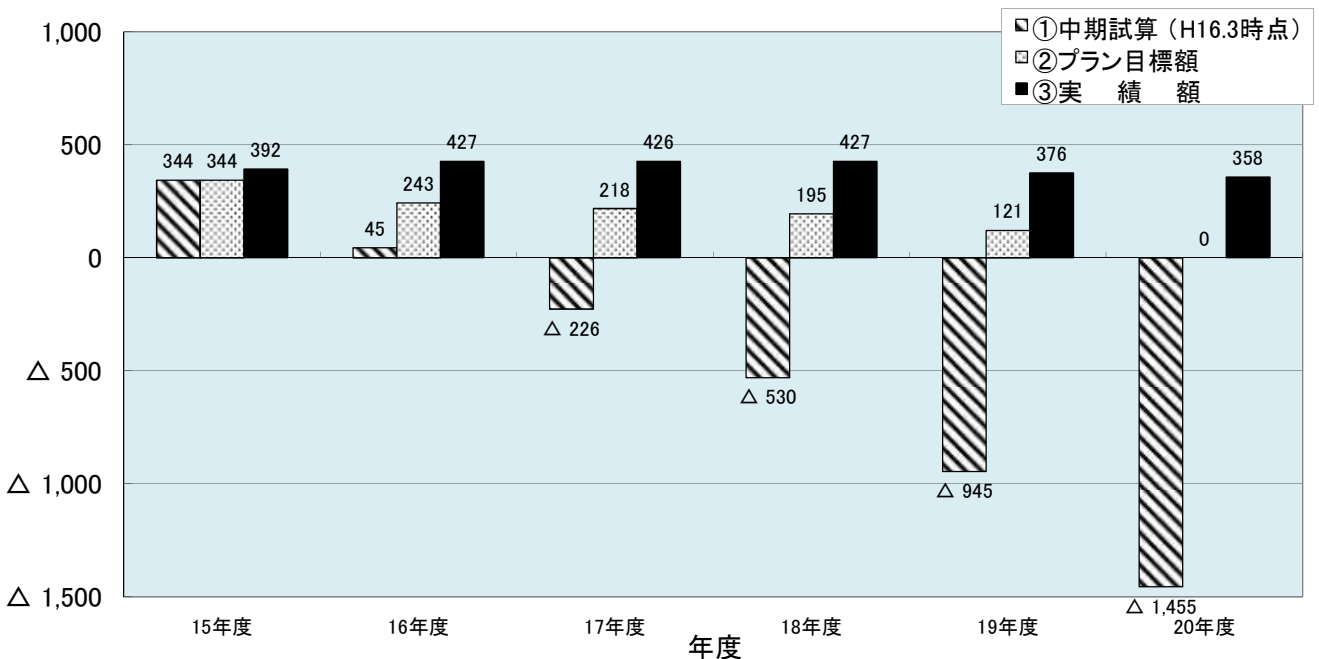
(単位:億円)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	累計額
①プラン見込額	9,988	10,033	10,041	10,036	10,035	10,033	-
②実績額	10,019	10,108	10,100	10,094	10,098	10,125	-
③増減額 (②-①)	31	75	59	58	63	92	-
④単年度県債残高増減額		89	△ 8	△ 6	4	27	-

平成16年度～20年度の行財政改革プラン達成状況



億円 財政調整用基金残高の状況について



行財政改革プランに基づく収支改善の状況

(平成16年度～20年度)

【歳出削減策】

(単位:億円)

取組項目	プラン目標額	実績額	上積額	上積の主な理由
1 大規模施設等の見直し	33.9	40.8	6.9	・指定管理者制度導入による委託料の削減等
2 新たな施設の整備の見直し	17.0	23.8	6.8	・プール整備方法の変更等
3 公社等外郭団体等の整理・統合	37.0	77.2	40.2	・林業公社への補助金の減 ・土地開発公社への委託料の減等
4 事務事業の選択と集中	677.0	836.7	159.7	・国体・障スポ開催経費の簡素化 ・投資的経費の減等
5 総人件費の抑制	406.0	423.6	17.6	・退職手当の見直し ・職員定数の削減等
歳出削減策合計	1,170.9	1,402.1	231.2	

【歳入確保策】

取組項目	プラン目標額	実績額	上積額	上積の主な理由
1 県税収入等の確保対策	30.0	36.4	6.4	・滞納整理の強化
2 県有財産の売却、有効活用	23.0	43.3	20.3	・予定外の土地の売却 ・予定額以上の収入確保等
3 県債の活用	59.0	186.2	127.2	・退職手当債の発行等
4 その他	172.0	166.9	△ 5.1	・臨時財政対策債の配分減 ・地方交付税等の配分減 ・法人二税等の県税収入増等
歳入確保策合計	284.0	432.8	148.8	

	プラン目標額	実績額	上積額	
改善額合計	1,454.9	1,834.9	380.0	

(参考)

平成20年度行財政改革プラン達成状況

【歳出削減策】

(単位:億円)

取組項目	目標額 A	達成額 B	上積額 C=B-A	上積額(C)の主な内訳
1 大規模施設等の見直し	8	(9.4) 9.5	(1.4) 1.5	指定管理者制度の導入による委託料の削減等
2 新たな施設の整備の見直し	5	(2.5) 2.6	(△2.5) △ 2.4	馬術会場の整備、セーリング会場の整備年度の変更等
3 公社等外郭団体等の整理・統合	10	(18.5) 22.7	(8.5) 12.7	運営費補助、委託事業費等の減
4 事務事業の選択と集中	173	(213.6) 256.7	(40.6) 83.7	国体・障害スポ開催経費の節約、効率的な事業執行による投資的経費の削減等
5 総人件費の抑制	83	(89.0) 88.8	(6.0) 5.8	職員定数の削減等
歳出削減策合計	279	(333.0) 380.3	(54.0) 101.3	

【歳入確保策】

取組項目	目標額 A	達成額 B	上積額 C=B-A	上積額(C)の主な内訳
1 県税収入等の確保対策	10	(0.2) 2.0	(△9.8) △ 8.0	法人二税を中心とする景気悪化の影響 (徴収率:目標 97.51% → 実績 96.82%)
2 県有財産の売却、有効活用	5	(3.1) 3.9	(△1.9) △ 1.1	売却推進計画の前倒し等
3 県債の活用	35	(70.0) 64.0	(35.0) 29.0	退職手当債等の活用
4 その他	60	(55.7) 63.8	(△4.3) 3.8	市町村振興資金の一部譲渡 40 景気後退等による県税収入の減 △30 等
歳入確保策合計	110	(129.0) 133.7	(19.0) 23.7	

	目標額 A	達成額 B	上積額 C=B-A	
改善額合計	389.0	(462.0) 514.0	(73.0) 125.0	

※ 上段()書きは2月補正時点での見込み額

※ 三位一体改革による国庫補助負担金の一般財源化のうち、義務教育費及び国民健康保険分については調整済みである。

平成20年度の行財政改革プラン枠組みの達成状況

(単位:億円)

1 20年度末財政調整用基金の状況 358 増加 (D-A)

プランによる20年度末残高見込み	0 (A)	
19年度までの目標額の上積みによる積立等	255 (B)	
2月補正による目標額の上積み …①	73	<div style="border-bottom: 1px solid black; height: 100%;"></div>
最終専決による目標額の上積み …②	30	
20年度の基金増加額(①+②)	103 (C)	
<u>20年度末の残高</u>	<u>358 (D=A+B+C)</u>	
(決算による目標額の上積み等) …③	(22)	<div style="border-bottom: 1px solid black; height: 100%;"></div>
20年度上積み額(①+②+③)	125	

2 20年度末県債残高の状況 92 増加 (D-A)

プランによる20年度末残高見込み	10,033 (A)	
19年度末の残高	10,098 (B)	
2月補正までの追加発行等 …①	25	
最終専決による追加発行等 …② (追加発行17 - 発行減等15 = 2)	2	
20年度中の増加(①+②)	27 (C)	
<u>20年度末の残高</u>	<u>10,125 (D=B+C)</u>	